



GMO リサーチ株式会社

2023 年 12 月期第 1 四半期決算説明動画公開

2023 年 5 月 8 日

イベント概要

[企業名]	GMO リサーチ株式会社		
[企業 ID]	3695		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2023 年 12 月期第 1 四半期決算説明動画公開		
[決算期]	2023 年度 1 四半期		
[日程]	2023 年 5 月 8 日		
[ページ数]	11		
[時間]	17:00 – 17:08 (合計：8 分、登壇：8 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	1 名 代表取締役社長 細川 慎一（以下、細川）		

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



目次

1. 結論と要約

2. 事業の概況

Appendix

GMO RESEARCH

2

細川：GMO リサーチ株式会社代表取締役社長の細川です。これより、2023年12月期第1四半期の決算説明をさせていただきます。

本日の説明は、こちらに示したアジェンダに沿って進めさせていただきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



結論と要約 | 決算サマリー

- 売上高は前年同期比+4.5%で、**第1四半期売上高として過去最高**を達成。
- 粗利は、前年同期比+7.6%で、**四半期として過去最高**を達成。
- 営業利益前年同期比▲5.9%、経常利益前年同期比▲17%

(単位: 百万円)	2022 (1-3月)	2023 (1-3月)	増減額	増減率	
売上高	1,365	1,427	+61	+4.5%	1Q 過去最高
売上総利益	665	716	+50	+7.6%	四半期 過去最高
営業利益	210	198	▲12	▲5.9%	
経常利益	231	191	▲39	▲17.0%	
最終利益	175	135	▲39	▲22.7%	

GMO RESEARCH

4

まず、結論と要約です。2023年第1四半期の業績につきまして、前年同期で成長トレンドを継続しております。売上高は前期比4.5%増の14億2,700万円となり、第1四半期として過去最高を記録しました。

また、売上総利益、粗利についても、前期比7.6%増の7億1,600万円となりまして、四半期の最高金額を達成しております。

営業利益は後ほど触れますが、D.I.Y サービス強化のための販管費増によって前年同期比で若干減少しましたが、下期以降でD.I.Yによるさらなる利益成長に貢献していく見通しです。

経常利益は、昨年1Qは為替差益が約1,800万円ありましたが、今年は約400万円の為替差損が発生しておりますので、その影響が出ています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



結論と要約 | 営業利益推移

- 粗利は前年同期比+50百万円増（+7.6%増）、粗利率向上約1.4pt。
- D.I.Yサービス強化のための販管費が先行増加しており、営業利益は前年同期比▲12百万円



次に、営業利益推移です。対前年同期比の増減要因をグラフ化しております。前期比で売上が6,100万円増加し、それに伴う原価が1,000万円増加。結果、粗利は前期比5,000万円増ということになっております。原価率の悪い案件の受託を意図的に減少させておりまして、その結果、粗利率が前期の48.8%から、今期1Qの50.2%へと1.4%改善し、粗利金額の増加につながっております。

販管費については、D.I.Yサービスの中心的な部門のプラットフォームチームを強化しておりまして、その影響で、主に人件費や関連費用などが増加しております。販管費で6,300万円の増加となり、営業利益は対前年同期比で1,200万円減となりました。プラットフォーム強化はD.I.Yサービス強化につながり、それが粗利率向上や顧客継続率向上などにつながりますので、本年下期以降に先行販管費を上回る利益効果を得られるものと考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

結論と要約 | 連結業績予想に対する進捗

■ 連結業績予想に対し、売上高および各段階利益ともに概ね順調に進捗



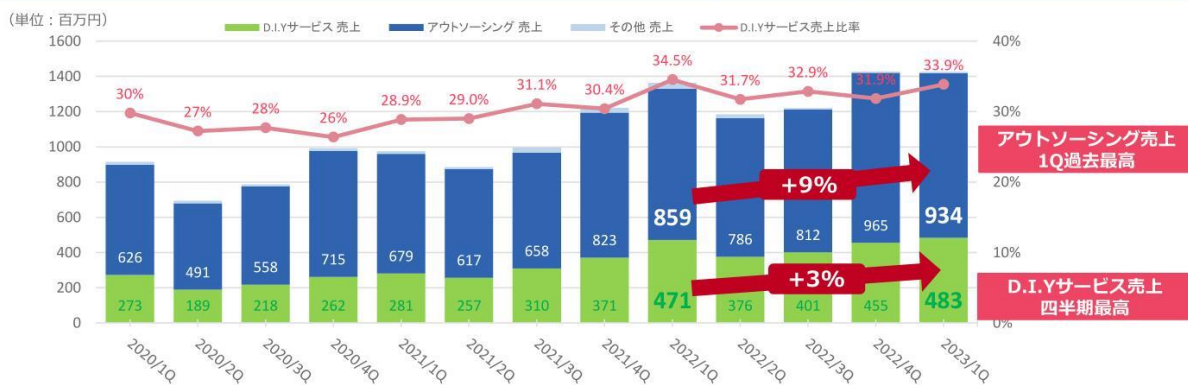
GMO RESEARCH

6

次に、業績予想に対する進捗です。2023年の通期業績予想に対する進捗率は、売上高が24%、営業利益、経常利益が37%、最終利益は36%となり、本年の見通しに対しては想定どおり順調に進捗していると考えられます。

事業の概況 | サービス別売上高推移

- アウトソーシング対前1Q+9%(+74百万円)、1Q過去最高売上
- D.I.Yサービス対前1Q+3%(+11百万円)、四半期最高売上
- D.I.Yサービスの売上高構成比は34%に（前1Q比▲0.6pt）



GMO RESEARCH

8

次に、事業の概況に移ります。まず、サービス別売上高推移になります。アウトソーシング売上は対前年比で9%増と1Q売上過去最高になっています。D.I.Yサービス売上は、対前年同期比で

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



3%増となり、四半期売上で過去最高。全売上高の D.I.Y サービス比率は 34%程度で、昨対 0.6%減となっておりま。これは、主に日本国内で粗利率の低い D.I.Y の案件を意図的に受注抑制したために、D.I.Y 売上の成長率が抑えられたといった背景です。しかし、粗利率は改善し、粗利の成長率は高まっております。

参考までに、受注を抑制した粗利率の低い D.I.Y 案件を除くと、D.I.Y サービス売上は、前年同期比で約 12%増ということになり、引き続き順調に成長していると考えております。

事業の概況 | 国内・海外売上高推移

- 国内売上は、前1Q比+4%(+45百万円)、四半期最高売上
- 海外売上は、前1Q比+5%(+15百万円)、1Q過去最高売上



GMO RESEARCH

9

次に、国内・海外売上高推移になります。国内売上は、前期比 4%増、四半期売上として過去最高。海外売上は、前期比 5%増、1Q 売上として過去最高となりました。また、海外売上高比率は 23%となり、対前年 1Q と同水準となっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

事業の概況 | Audience Engagement Platform



GMO RESEARCH

10

次に、Audience Engagement Platform と各 KPI の状況の説明に移りたいと思います。

当社は、サンプルパネル提供会社のプラットフォームとして、Audience Engagement Platform という名前で提供しております。こちらは、この三つの KPI を追っていくことで、このプラットフォームが順調に成長しているかが確認できます。これは、パネル側の、仕入側の商品を強くするパネルサイド API 接続数、商品が強くなると 2 のお客様が増えてきます。これは顧客サイド API 接続増。それで、3 番目が消費者の声が増えてきますので、消費者の声増。結局、消費者の声が増えると魅力的になるので、パネルサイドの仕入先がさらに増えていくと。こういう好循環が生まれるわけです。

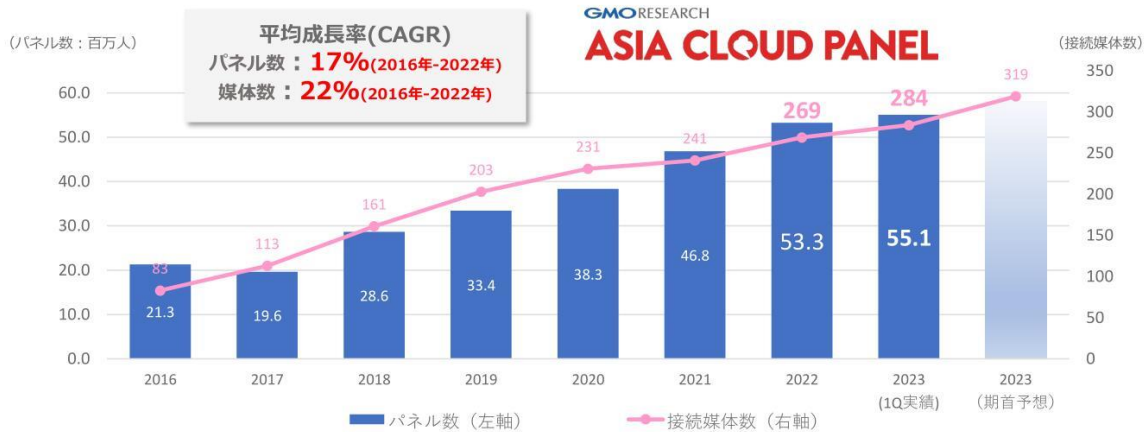
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



事業の概況 | ① パネルサイドAPI接続数

- 競争力の源泉であるアジアクラウドパネルは、アジア16の国と地域で5,506万人超となり、API接続媒体数は284へ増加しています。



GMO RESEARCH

11

では、一つ一つ見ていきます。まず、一つ目、パネルサイドAPI接続数になります。こちらは15件増加し、23年1Q末では284件となりました。また、アジアクラウドパネルのパネル数については、16の国と地域において5,506万人まで増加してきておりまして、こちらも順調に成長できていると思っております。

事業の概況 | ② 顧客サイドAPI接続数

- アジアクラウドパネルへ接続している顧客数(*1)には一時的な減少がありましたが、D.I.Yサービス売上高は順調に増加しております。
 (*1) アジアクラウドパネルへAPI接続している顧客及び当社Market Observerを利用する顧客 (過去1年以内に発注実績があること)



GMO RESEARCH

12

サポート

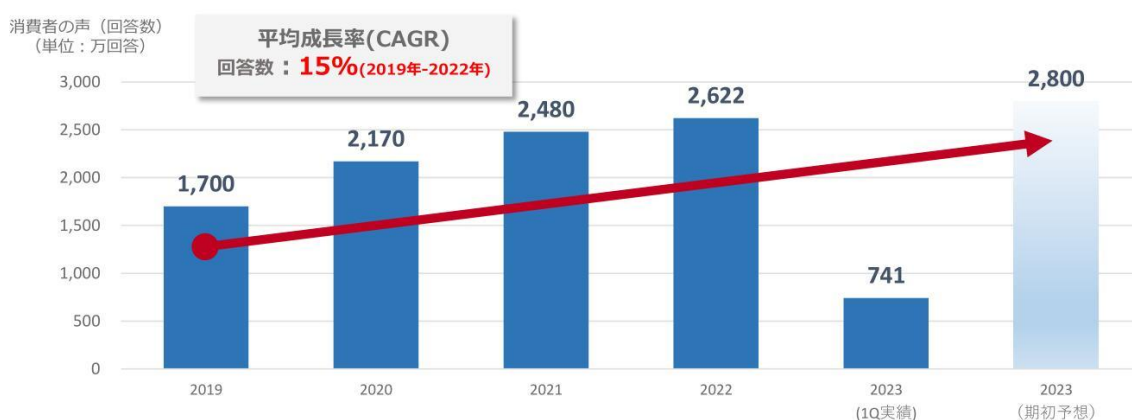
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



次に、顧客サイド API 接続数ですが、2022 年末の 117 件から 2 件減少し、2023 年 1Q 末で 115 件となりました。これは、既存のお客様のうち、過去 1 年以内にご発注のないお客様が発生したためです。青い棒グラフで示されている D.I.Y サービス売上については、順調に成長を継続していると思います。D.I.Y サービスの売上は、過去の平均成長率が 27%と、高い成長率を維持しております。これは、当サービスのストック性、すなわち顧客の継続率が 94%と高いので、1 社あたりの売上高が年々増加する特性があるためでございます。2023 年においても、API 接続数の増加と、それに伴う D.I.Y のサービス売上の 20%以上の成長を継続して進めていく所存でございます。

事業の概況 | ③消費者の声（回答数）

- 世界の企業に届けた消費者の声（回答数）は順調に増加しております。



GMO RESEARCH

13

次に、消費者の声、回答の数になります。世界の企業に届けた消費者の声は、2023 年 1Q では 741 万回答となりました。昨年の 1Q が 654 万回答でしたので、約 13%回答数が増えていることが分かるかと思えます。年間目標に向けて、順調にこちらの数字も推移していることが見て取れるかと思えます。

「想いを、世界に」、GMO リサーチ。以上が決算説明になります。ありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

